

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 大川樟風 高等学校

67

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>地域全体を学びの場とした教育活動とおして「人や地域とつながり、未来を自ら創造できる力」を育成する学校 家具のまち「大川」の教育資源の活用や活発な校種間連携により、地域と一体となって教育活動の充実を図ることで、自らの未来を描き実現できる力を持った地域の担い手となる人材を育成</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<p>○自ら考え、判断し、行動できる人材育成 ○樟風生として誇りと地域に愛される礼儀やマナー ○多くの資格を取得し、主体的に進路を切り開く力 ○ICT機器を積極的に活用できる力</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<p>○オンライン講座などの情報コンテンツを活用した学習支援と多様な生徒への指導の充実 ○電子黒板やタブレットなどICT機器を活用した授業展開 ○一人ひとりの進路に対応したカリキュラムの編成と社会人と連携した専門的かつ実践的な授業展開</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<p>○人とつながり、地域と積極的に関わり、貢献できる生徒 ○学校行事に積極的に取り組む生徒 ○授業を大切に、自分の夢を実現するために努力を重ねる生徒 ○ルールやマナーを尊重し、周囲と協調し行動できる生徒</p>

学校運営計画(4月)

学校運営方針					評価 (総合)
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標		
<p>[成果] ・大川市校種間連携と連携型入試の実施。 ・学校行事を実施による生徒の達成感や自己肯定感を育成。 ・多様な進路の実現のための資格取得。 [課題] ・魅力ある学校として受検者増につながる広報活動の強化と積極的な情報発信。 ・授業評価(3観点による評価)の改善。</p>	1 魅力ある学校づくりと校種間連携の推進	各学科・コースの特色ある活動の充実。大川市校種間連携の推進。生徒会を中心とした学校行事や部活動の活性化。			
	2 安全で安心な教育活動とおした自分磨き	いじめや差別のない環境づくり。社会人としての規範意識の醸成。			
	3 観点別評価の改善とICT教育の推進	観点別評価の適切な評価と学力の伸長。ICTの積極的活用。			
	4 キャリア教育の更なる充実	本校のキャリア教育の体系化。生徒1人ひとりの進路意識の高揚。			
	5 積極的な広報活動	本校の強みを積極的かつ効果的に発信し、志願者の増加。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等	
ア 教務部	主体的・対話的で深い学びの推進	電子黒板、クロームブック等のICT機器を効率よく効果的に活用する。 スタディサプリを活用し、基礎学力の定着を図る。 観点別評価を充実させ、生徒個々の目的の明確化する。	学習時間調査 学校生活アンケート 学校満足度アンケート		
	全生徒の科目の履修と修得	遅刻・欠席が多い生徒に対して保護者等と連携し指導を行う。 成績不振者に対する補講や保護者会を実施する。 長期休業期間中の個別指導を実施する。	学習時間調査 学校生活アンケート 学校満足度アンケート		
イ 企画調整課	他分掌との連携	行事予定作成のための的確な情報を収集し、月ごとの行事・授業予定表を余裕をもって配布する。 他分掌と連携して、学校行事における企画補助を行う。また、図面作成や掲示物等の作成・管理を行う。 各学期における式典要項を作成し、各学年との調整を行う。	学校満足度アンケート		
	PTAとの連携	PTAとの連携を深め、本校の支援体制を充実させる。 PTA新聞「くすのき」を年3回発行し、情報発信に努める。 PTAと協力し「樟風をよくし隊」などとおして、学校の活性化に貢献する。	学校満足度アンケート		

様式3

ウ 生徒指導課	校外外における身なり指導やコミュニケーション能力向上を目指した指導、立止り一礼挨拶の指導、進路実現を根拠に置いた指導、交通マナーの指導等を徹底する。	進路実現を根拠に置いた指導を行い、キャリア育成部との連携を図り、進路実績を中学生へのアピールポイントとして活用していく。	学校満足度アンケート	
		コミュニケーション能力向上を目指し、敬語を正しく使う指導の徹底と輝あっぷ運動を効果的に活用し、全職員での生徒指導を展開する。		
		挨拶の意義を様々な学校生活の場面で理解させ、職員が率先垂範を行うことで生徒の自発的な挨拶をさらに充実させていく。		
	交通安全教室などを学期に1度以上実施し、生徒会活動などから生徒たちの主体的な呼びかけを行わせるよう指導していく。			
ウ 生徒指導課	生徒主体型の学校行事を充実させ、樟風の特色や良さを地域に明確にアピールできるものを全生徒・職員の協力のもとに創り出す。	学校行事などを、生徒会を中心とした生徒主導で実施させる機会を増やし、Uplias権を積極的に活用して自己肯定感を高めていく。	学校満足度アンケート	
		生徒、保護者、職員での校則の見直しを継続的に行う。HPやインスタグラムを活用し、学校の良いPRの場面となるよう更なる充実を図る。		
	生徒主導による各部活動の推進や生徒会を中核とした各種委員会を活性化し、生徒募集部との連携を図り広報活動を積極的に実施する。	地域との連携を積極的に図っていき、学校行事や地域のイベントなどを協働して行うような機会を増やす。		
エ 健康指導課	教育相談活動の充実	毎月の活動計画を作成することにより、毎日の部活動を生徒が自主的・自発的に取り組むことができるように指導していく。	学校満足度アンケート	
		中高連携を活用し、学期に1回中学校などの部活動の合同練習などを行っていく。		
	健康的なライフスタイルの確立	健康相談週間を設定し、個人面談を実施する。	学校生活アンケート」 心と身体の健康アンケート	
		保健室と学年や他分掌の連携を深める。 scやssw等を活用し、生徒や保護者に対する支援体制に努める。		
オ キャリア教育課	体系的なキャリア教育の推進	保健便りの発行や文化祭での展示等を通して、健康意識の向上を図る。	心と身体の健康アンケート	
		手指の消毒等を継続し、感染症やその他の疾病を防ぐ。 「食事」や「睡眠」の重要性、その他現代の健康課題(薬物乱用等)についての啓発を行う。		
	有益な進路情報の収集・発信による進路目標の早期確立	スタディサプリを活用した個別学習や放課後課外授業等により、多様な進路に対応した支援を行う。 「未来への一日」やインターンシップ等の行事により、生徒の進路意識の高揚を図る。 キャリアパスポートの記入を通して定期的な振り返りと自己評価をする。	「未来への一日」アンケート(生徒・保護者) インターンシップアンケート(生徒・企業)	
		近年の入試動向の変化に対応し、『進路の手引き』を改訂する。 新課程入試に関する情報を適宜発信する。		
進路決定率100%を目標とした職員間の連携	外部模試等の結果分析会を実施し、学年・学系・教科との共通理解を図る。 多様な希望進路に対応するため、個人面談等の丁寧な指導を行う。 分掌会の定例化により、組織的な指導に繋げる。	学校満足度アンケート		
カ キャリア研修課	教職員としての資質向上のため、生徒の実態に即した研修の計画的な実施	教職員としての資質向上のため、今日的教育課題や本校の実態に即した職員研修を実施する。	職員アンケート	
		専門研修等の研修の機会を随時提供する。 職員の研修成果を研究紀要のフォルダにデータを保存し、情報を共有する。		
	ICT・AIを活用した研究授業の実施授業アンケートや授業参観の活用	ICT・アクティブラーニングを活用した研究授業を行い授業改善につなげる。 生徒による授業アンケートを実施し、授業の工夫・改善に生かしていく。 授業参観週間を計画・実施する。また、中学校への授業参観案内を行い、中高連携を推進する。	授業アンケート	
		図書館書籍購入の希望調査と書籍の整備		

様式3

キ 生徒募集部	キー1 生徒情報のタイムリーな発信と大 川市連携事業の充実	情報ツールを活用し、学校行事や表彰、資格取得状況等細かく最新の情報発信。 「樟風新聞」「樟風Times」等の広報誌発行と出身在校生を活用したポスター作成。 大川市内の2中学校で実施するGTとしての授業連携の充実。	本校認知度アンケート 中高連携型事業(授業)アンケート	
	キー2 本校の特長・魅力の説明	高校説明会等で本校の特長や魅力、中学生にとって有為な情報の提供。 本校生から本校での満足度調査等を調査し、広報活動に活用。 体験入学を工夫・改善し、本校へ志願する意識の高揚。	学校満足度アンケート 体験入学アンケート	
ク 教育の情報化推進部	職員の活用スキルの向上を図る ため、ICT活用に関する研修や 支援を行う。	適切な情報を学校ポータルや情報ロッカーへの掲示を行い発信する。 ICT支援員等による、学期に一度のICT活用に関する研修を行う。 実践例等について、校内・校外の情報を収集・発信する。	ICT機器の授業活用満足度に関するアンケート (生徒)	
	ICT利活用のための環境を整え る。	ICT機器の適切な使用方法について広く周知する。 活用状況などの情報共有につとめる。 不具合や破損が起こった際には早期に復帰させ、使用可能な環境を維持できるようにする。	ICT機器使用に関するアンケート(生徒・教員 用)	
ケ 3学年	進路実現のための学力の育成	生徒の希望と能力を常に把握し、担任会や学年会などを利用するとともに、より個々に対応した指導助言を行う。 各学科における資格取得を各科で奨励し、より高次の取得に向けて授業や補講などで対策を取り、その資格取得を目指す。 入試傾向を捉え、小論文やポートフォリオの指導の充実を図る。	学年指導についてのアンケート(生徒・保護者・ 教員用)	
	実社会で求められる主体性と協 調性の育成	学校行事を中心となって企画・運営し、成熟感を味わい協調性を身につけさせる。 地域の行事やボランティア活動などへ参加し、実社会と関わりを持つことで協調性を育成する。 授業やHR、総合的な探究の時間などで自分の考えをまとめ、積極的に表現する態度を育てる。	学校満足度アンケート	
コ 2学年	進路希望の早期確定と 基礎学力の向上	キャリア教育部と連携し、進路希望を明確化するための計画的な進路学習を行う。 学年団による継続的な二者面談を行い、生徒の現状把握と学習意欲の喚起に努める。 コースの特色に応じた学習指導(補講、模試対策、特別講座等)を行う。	学年指導についてのアンケート(生徒・保護者・ 教員用) 学校満足度アンケート	
	自主性の涵養と規範意識の 確立	皆勤を奨励し、遅刻欠席欠課に対して個に応じた指導を行う。 学校行事を通して中堅の学年としての自覚を高め、責任ある自主的な行動を促す。 社会人としてのあり方を意識させ、挨拶、掃除を徹底し、校則を遵守させる。	学年指導についてのアンケート(生徒・保護 者・教員用) 学校満足度アンケート	
	互いを尊重し高め合う集団の 育成	生徒の多様な活躍の場を設け、自主的な行動を促す。 日々の配信やHR、学年通信、学年集会等の中で生徒の活躍を称える。 学年、学校行事への取り組みの中で協働の場を設ける。	学年指導についてのアンケート(生徒・保護 者・教員用) 学校満足度アンケート	
サ 1学年	基本的な生活習慣および規範意識 の確立	身だしなみの整美や挨拶の励行を通して「成人(社会人)」としてあるべき姿の基礎を作る。 凡事徹底の意識を育て、教員と生徒間の信頼関係の構築を図る。 日々の清掃活動を徹底し、落ち着いた学習環境を整える。 学校行事や部活動への積極的な参加を奨励し、所属意識の醸成と内面的な成長を促す。 生徒一人ひとりの課題解決のために、保護者、養護教諭、SSW、SC、職員との連携をはかる。	授業アンケート 学校生活アンケート	
	授業規律の確立	授業の開始・終了を遵守し、はじめのある授業を行う。 課題の提出を徹底するため、教科担当者と担任が情報交換を密にし、粘り強く指導する。 定時制との共有教室であることを意識させ、机の上や中、後ろの棚の整理を徹底する。	業アンケート 学校生活アンケート	
	基礎学力の定着	クラスや生徒個々の実態把握に努め、基礎・基本の習得をはかる。 自己理解を深め、表現する機会を設ける。 成績不振者に対する補講等を計画的に実施し、個別指導の充実をはかる。 集会や講演会を通じ、聞く姿勢の醸成をはかる。	業アンケート 学校生活アンケート	
	進路意識の育成	キャリア教育部と連携し、3年間を見通した計画的な進路学習を通して、意識の向上をはかる。 総合的な探究の時間において、「課題発見、調査、解決策のまとめ、発表」の一連の探究活動の能力を育成する。 学年通信やホームページ、インスタグラムを活用し、保護者との情報共有をはかる。	学年指導についてのアンケート(生徒・保護者・ 教員用)	
シ 住環境システム科	シー1 「ものづくり実習」の充実と積極 的な資格取得	「ものづくり」への興味・関心を喚起し、より実践的な実習の実施。 地元企業の協力のもと、インターンシップを実施による職業意識の高揚。 資格取得の深化を図り、ジュニアマイスター(ゴールド)受賞者の増加。	インターンシップアンケート 実習満足度アンケート	
	シー2 産学官連携事業の推進と校種間 連携の充実	専門性を身につけ、ものづくりコンテスト等における上位入賞 家具製作現場実習や熟練した専門家からの指導による専門性の深化。 校種間連携事業における「木育」教育と本校本科の魅力発信。	校種間連携実施アンケート	